

環境基本計画の 評価と見直し

池田 慈 議員

問 環境基本計画について、どの部分が一番達成できなかつたか。

答 まちづくり振興部長 現在、評価中である。

問 達成目標に対して、もっと具体的な書き方がいいのではないか。例えば、保存緑地、保存樹木の指定制度の拡充とあるが、目標数値を入れると明確化するのではないか。

答 具体的な数値を実際に挙げているものもある。また、目標達成に短期・中期・長期と分けてある。今後、評価をして、総合達成目標の表現の仕方及び捉え方の見直しを検討していく。

問 環境基本計画推進委員会が設置されているが、この委員会は環境基本計画の点検と推進を行っているのか。

答 今回の見直しに先立つ点検評価を庁内組織で行った。今後も年1回は推進委員会を開催していきたい。

問 環境基本計画に放射能の項目を入れる要望が出されたがその対応は。

答 今後、見直し作業に入っていく中で、環境審議会の意見も聞きながら検討していく。

問 今後も食材の放射能測定は重要になってくるが、予定については。

放射能対策課長 平成23年度から食品の放射能を持ち込み検査しているが、当分の間は、食の安全安心ということで続けていく。

健康意識を高める 取り組みは？

落合 信太郎 議員



スーパーで行われた「ぶらっと健康相談」(6月)

問 兵庫県尼崎市では、市民の健康を高める取り組みとして、健康診断結果で体の危険度をチェックし、特定指導を行い、新たな病気になる人を大幅に減らすことに成功した。取り組みについての考えは。

健康福祉部長 市としても国の予防戦略研究事業の介入自治体としてこの事業に取り組み始めた。現在は、健康診断結果のデータ入力作業を行っているところで、今後どのように進めていくかを検証していく。

問 尼崎市では、なかなか健康診断が受けられない方を対象に、コンビニエンスストアの駐車場で健康診断を行っている。検討してはどうか。

答 これまでにも健康診断は、それぞれの保健センター、地区公民館、福祉交流センター等、または休日にも実施している。コンビニエンスストアでの健康診断は研究していく。

問 「ぶらっと健康相談」では、血圧と体組成を測定しているが、市民が健康診断の結果表を持参すれば、詳しい保健指導をする取り組みはできるか。

答 「ぶらっと健康相談」には保健師もいるので、相談者自身が診断結果を持参すれば健康指導はできる。さらに今後は、スーパーなど市民の方々の身近なところでの開催を検討したい。

広域合併

川又 貞男 議員

問 つくば市と土浦市に続いて、水戸市、鹿嶋市でも合併の話が出ているが、市はどう見ているのか。

市長 現段階で合併については全くの白紙の状態。国の動向も、市町村合併の取り組みだけでなく、複数の市町村が共同作業の内容、



取手市周辺の市町村(茨城県内)

役割、費用分担を決める連携協約が導入され、業務の一部を他の自治体が代行する手続きが緩和された。近隣との競い合いということも意識して取り組みたい。

問 市が将来、取り残され埋没するのが心配。どうすればいいか。

答 市民活動の成熟度は、近隣よりもはるかに先を進んでいて、市の誇れるものである。一方で、学校や駅前などさまざまな部分で、40年前の姿だと一様に古びて見えるので、新しい要素を取り入れる投資をしなければならないならないと考えている。

問 高齢化が進んでいった場合、市単独でやっていくことに不安を感じる。近くの市が行っている合併研究に参加してはどうか。

政策推進部長 広域合併の考えはないが、情報収集は適宜行っていく。

災害時相互応援協定 による南相馬市支援

結城 繁 議員

問 南相馬市から避難者の受け入れ状況は。

健康福祉部長 現在、福島県全体で32世帯86名、そのうち南相馬市は15世帯41名を受け入れている。「南相馬双葉浜通りの集い」にも積極的に参加し、細かな相談や地元との交流を行っている。

問 職員1名を南相馬市に派遣しているが状況は。

人事課長 南相馬市から昨年11月に人的派遣の依頼があり、派遣職員の募集を行った。そこで参加を希望した1名の職員を、4月から1年間の予定で派遣して、復興の一助を担っている。

問 南相馬市全体の職員派遣の受け入れ状況は。

答 各県を含む20自治体から40名の職員が派遣されている。

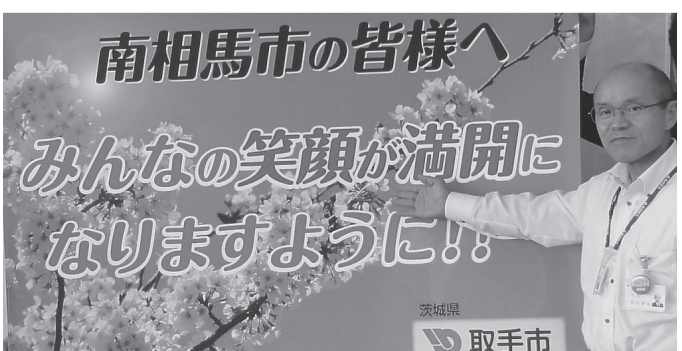
問 福島県の新聞では、人材が人数も含めて非常に不足している」と報道があったが、市は、今後も要請があれば派遣を続けていくのか。

総務部長 南相馬市と協議を重ねながら検討していく。

問 市の社会福祉協議会としての協力はあるのか。

健康福祉部長 特にないが、社会福祉協議会内のボランティア会議等が「集い」をお手伝いしているので、きっかけがあれば支援する意向。

問 南相馬市役所を訪問した際に、各自自治体からの応援メッセージがロビーに貼ってあったが、市も職員を派遣しているのだから、総務部次長 早急に検討して、きっちりわかるような形で対応していきたい。



取手市から送られた応援パネルと桜井南相馬市長(7月)